

令和5年度進行管理・評価シート  
 小田原市歴史的風致維持向上計画(第2期)(令和3年3月29日認定)  
 (最終変更 令和6年3月29日)

**□進捗評価シート(様式1)**

①組織体制(様式1-1)		
1 計画の進捗管理及び推進体制	.....	1
②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)		
1 景観計画の活用	.....	2
③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)		
1 清閑亭活用事業	.....	3
2 皆春荘整備活用事業	.....	4
3 旧松本剛吉別邸整備活用事業	.....	5
4 小田原文学館(本館・別館)整備活用事業	.....	6
5 歴史的風致形成建造物整備活用事業	.....	7
6 史跡小田原城跡保存活用・整備事業	.....	8
7 指定文化財等建造物保存・公開事業	.....	9
8 街かど博物館活用事業	.....	10
9 小田原宿なりわい交流館整備活用事業	.....	11
10 景観計画重点区域等における景観形成修景費補助事業	.....	12
11 重点区域における街なみ環境の向上	.....	13
12 文化財の総合的把握・保存活用事業	.....	14
13 伝統行事・民俗芸能等保存継承事業	.....	15
14 観光イベント支援事業	.....	16
15 回遊性向上推進事業	.....	17
16 伝統的工芸品産業産地組合助成・地場産業PR支援事業	.....	18
17 職人育成等推進事業	.....	19
18 旧保健福祉事務所跡地活用事業	.....	20
④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)		
1 文化財の調査及び指定、防災	.....	21
⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5)		
		22
⑥その他(効果等)(様式1-6)		
1 小田原城址公園の魅力向上	.....	23
2 歴史まちづくりカードの配布	.....	24
3 歴史まちづくり出前講座の実施	.....	25
4 歴史まちづくりに係る民間の取組	.....	26
5 歴史的建造物の入館者数等	.....	27

□法定協議会等におけるコメントシート(様式2)	.....	28
-------------------------	-------	----

評価軸①-1  
組織体制

項目	評価対象年度	令和5年度
計画の進捗管理及び推進体制		現在の状況 <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容  
本計画の推進にあたっては、市内部の横断的な体制を整えるとともに、歴史まちづくり法第11条に基づく、外部有識者らで構成する小田原市歴史まちづくり協議会を設置することで、計画的に進捗管理し、推進を図る。市内部の体制としては、文化部、経済部、都市部の主要課を事務局とし、小田原市歴史的風致維持向上計画推進会議において、市内部における本計画の進捗管理及び事業推進に係る連絡調整を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

・令和5年度第1回、第2回小田原市歴史的風致維持向上計画推進会議及び令和5年度第1回、第2回小田原市歴史まちづくり協議会については、意見を検討する時間の確保や、委員の会議参加への負担を減らす観点から、書面開催とした。

・本計画に位置付けている各事業については、円滑に進めるため、適宜、所管課と個別に連絡調整を行っている。

【定量的評価】

小田原市歴史まちづくり協議会の開催回数 R3:2回 R4:2回 R5:2回  
小田原市歴史的風致維持向上計画推進会議の開催回数 R3:2回 R4:2回 R5:2回

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

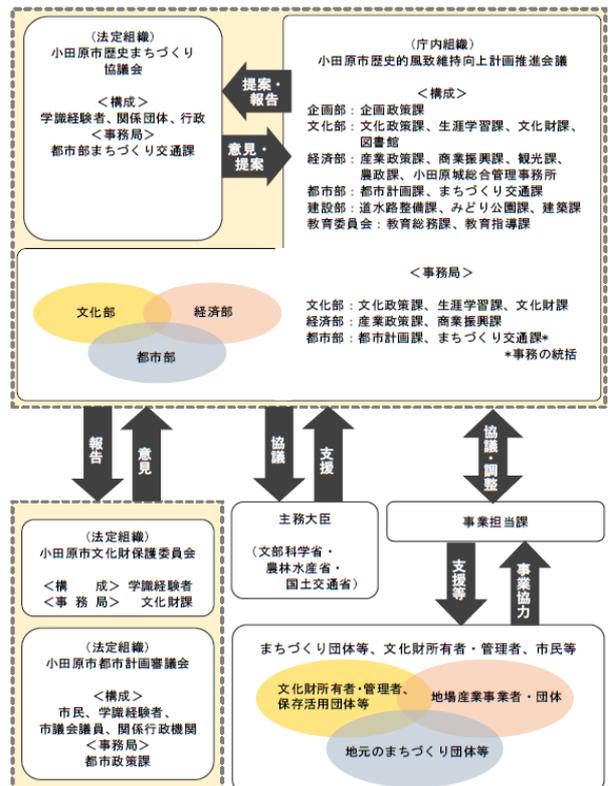
状況を示す写真や資料等

○小田原市歴史まちづくり協議会

**第1回協議会(書面開催:令和5年4月28日~令和5年5月12日)**  
1 協議事項  
(1)会長及び副会長の選出について  
(2)歴史的風致維持向上計画(第2期)の令和4年度進行管理・評価シートについて  
(3)歴史的風致形成建造物の指定について  
(4)歴史的風致形成建造物(指定候補)の追加について  
2 報告事項  
(1)かまぼこ通り周辺地区の景観計画重点区域について  
(2)歴史的建造物の利活用について

**第2回協議会(令和5年10月31日~令和5年11月10日)**  
1 協議事項  
(1)小田原市歴史的風致維持向上計画(第2期)の変更について  
(2)歴史的風致形成建造物(指定候補)の追加について  
2 報告事項  
(1)令和5年度進行管理・評価シートについて(中間報告)

○小田原市歴史的風致維持向上計画の実施体制図



評価軸②-1

重点区域における良好な景観を形成する施策

		評価対象年度	令和5年度
項目		現在の状況	
景観計画の活用		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容  
 本計画の重点区域には、本市が先進的に取り組んできた建築物や屋外広告物等に関する景観施策に基づいた景観計画重点区域が含まれており、今後本計画の推進と連動しながら、景観計画重点区域等の拡充を図ることにより、効果的に歴史的風致の維持向上を図ることが可能である。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- ・平成17年度に策定した「小田原市景観計画」に基づき、市内における良好な景観形成のための規制誘導を行っている。  
 【景観届出件数】(拠点型重点区域のみ)  
 R3:18件 R4:14件 R5:22件
- ・景観上重要と思われる案件について、自然、歴史的建造物、街なみ、伝統や文化との調和を踏まえ、地域ごとの特性に応じた景観を形成するため、景観評価員に意見を求めている。  
 【景観評価件数】(歴まち計画重点区域のみ)  
 R3:2件 R4:0件 R5:2件
- ・景観計画重点区域内等の民有建築物については、著しく良好な景観に寄与する建築物の新築等における屋根及び外壁に係る設計費及び工事費の一部を助成する「景観形成修景費補助金制度」の活用による修景を実施している。  
 【修景実施件数】(累計)  
 R3:1件 R4:3件 R5:3件
- ・平成22年に施行した「小田原市屋外広告物条例」に基づき、屋外広告物における規制誘導を行っている。  
 【屋外広告物許可申請件数】(拠点型重点区域のみ)  
 R3:45件 R4:26件 R5:51件

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

○重点区域内における良好な景観形成の事例(景観形成修景費補助金制度によるもの)  
 「10.景観計画重点区域等における景観形成修景費補助事業(p.12参照)」  
 令和5年度事例なし

○景観評価員への意見聴取状況

民間複合施設の景観評価の様子



小田原市多拠点ネットワーク型まちづくりHub形成事業スマートポールの景観評価



評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和5年度
項目		現在の状況	
清閑亭活用事業		<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間	令和3年度～令和12年度
支援事業名	市単独事業
計画に記載している内容	清閑亭を、歴史・文化と自然に恵まれた小田原の豊かな暮らしを体感できる施設として、民間事業者等と連携し、魅力的な活用を進める。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

・令和3年12月24日に、(株)JSフードシステムと相互に協力し、提案内容を確実かつ円滑に事業化することを目的とする「清閑亭の利活用に向けた詳細協議に関する協定書」を締結し、行ってきた詳細協議が完了した。

・令和4年度以降の清閑亭の利活用について、「食」を通じて「小田原ならではの文化」を発信するとともに、観光の回遊拠点の一つとして地域連携を図り、持続可能な形で建物を維持保全していくことを目的とした「小田原別邸料理 清閑亭」とする提案を採用した。

・令和6年3月7日に「定期建物等賃貸借契約」を締結し、同年3月25日から飲食店「小田原別邸料理 清閑亭」として開業した。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

○店舗写真



主屋外観(夜間)



主屋内観(蔵カフェ)



主屋内観(客室:幸)



主屋内観(客室:新玉)

評価軸③-2

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和5年度
項目	現在の状況	
皆春荘整備活用事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間	令和3年度～令和12年度
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)、市単独事業
計画に記載している内容	皆春荘を、小田原の別邸文化を伝える施設として保全するとともに、板橋散策のレストスペースとして、魅力向上のための整備を進める。また、市民や観光客が別邸文化に触れることのできる環境を整えるため、民間団体等と連携した利活用を推進する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

・主屋一部及び庭園の一般公開を実施している(令和3年10月～)。  
 ・将来的・長期的な利活用の可能性を探るにあたり、多彩なノウハウを生かして施設の活用促進を行うため、当該業務を民間事業者(株式会社トープラ)に委託し、各種イベントを開催している(令和4年10月～)。  
 ・令和3年度に実施した調査の結果に基づき、山縣有朋の自然観と作庭観を現代に伝える庭園の復元をテーマに庭園の工事を実施するため、実施設計を行った(令和4年9月～令和5年7月)。工事は、令和6年4月から令和7年1月末まで実施予定。  
 ※山縣有朋が庭園を作庭したホテル椿山荘東京を管理運営する藤田観光(株)と山縣有朋ゆかりの庭園の連携事業を推進するため包括連携協定を締結した。(令和6年4月1日)今後、連携事業の具体的な協議を進めていく。

【定量的評価】  
 入館者数 R3:1,877人 R4:3,308人 R5:7,762人  
 イベント数 R3: 3回 R4: 7回 R5:26回

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

○令和5年度イベント実績

日付	イベント等名	ジャンル	参加者数
3/14(火)～4/2(日)	春さくら華屋敷まつり	展示	-
5/10(水)～3/9(土)	お月見の会(期間中10回)	飲食イベント	128
5/13(土)～5/28(日)	目に青葉と皆春荘で味わう篆刻・刻字と書	展示	256
6/17(土)～6/29(木)	山本春光 天空書展	展示	156
7/14(金)～7/28(金)	田代勉日本画展「月下にて」	展示	169
8/5(土)・6(日)	皆春荘で過ごす夏	その他イベント	108
8/20(日)	ONKO-CHISHIN 浪漫コンサート	コンサート	38
9/5(火)～9/10(日)	こどもの詩てらん会回顧展	展示	34
10/8(日)・10/9(月)	山縣有朋ゆかりの皆春荘見学会	施設見学・ガイド	17
10/12(木)～10/22(日)	日本あちこち旅みやげ たなかきょおこ展	展示	225
10/28(土)	おだわら歩き	その他イベント	23
11/11(土)	日本の伝統技能 組子細工ワークショップ	講座・教室	10
11/18(土)	わをんコンサート「秋麗」(あきうらら)	コンサート	24
11/19(日)	季節を楽しむ俳句の会	講座・教室	11
11/21(火)	大人の休日倶楽部 趣味の会	施設見学・ガイド	33
11/22(水)～12/1(金)	美の室礼展	展示	121
12/2(土)・12/3(日)	文化財建造物秋の観覧会	施設見学・ガイド	364
12/5(火)	水引きワークショップ	講座・教室	15
12/8(金)～12/17(日)	山本春光 天空書展	展示	202
1/6(土)～1/13(土)	おだわらかるた原画展 かるたを楽しむ会	展示	45
1/20(土)	つるし雛ワークショップ	講座・教室	10
2/11(日)	ウィメンズプラスワークショップ	講座・教室	12
2/17(土)	おだわら雛の道中 着物と楽しむ雛まつり	飲食イベント	8
2/20(火)～3/3(日)	えび久アート展	展示	163
3/12(火)～3/17(日)	斎藤真実絵画展	展示	125
3/20(水)～3/31(日)	シン・アート三人展	展示	52



○受託者が作成したホームページ  
<https://kaishunsou.com/>

○イベント参加者のご意見等

- ・施設までの道がわかりづらく迷った。
- ・市の施設には散策マップが設置されているが、手に入りやすいよう設置場所を増やして欲しい。
- ・存在を知らなかった。

評価軸③-3

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和5年度
項目	現在の状況	
旧松本剛吉別邸整備活用事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間	令和3年度～令和12年度
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)、市単独事業
計画に記載している内容	旧松本剛吉別邸を、小田原の別邸文化を伝える施設として保全するとともに、観光交流拠点として、魅力向上のための整備を進める。また、現存する茶室等を活用し、市民や観光客が別邸文化に触れることのできる環境を整えるため、民間団体等と連携した利活用を推進する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で	
・主屋一部、茶室及び庭園の一般公開を実施している(令和3年10月～)。 ・将来的・長期的な利活用の可能性を探るにあたり、多彩なノウハウを生かして施設の活用促進を行うため、当該業務を民間事業者(株式会社トープラ)に委託し、各種イベントを開催している(令和4年10月～)。 ・令和3年度に実施した調査の結果に基づき、明治時代から現代まで続く日本庭園の再構築をテーマに庭園の工事を実施するため、実施設計を行った(令和4年9月～令和5年7月)。工事は、令和6年4月から令和7年1月末まで実施予定。	
【定量的評価】	
入館者数	R3: 2,022人 R4: 7,337人 R5: 10,321人
イベント数	R3: 10回 R4: 19回 R5: 31回

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

○令和5年度イベント実績

日付	イベント等名	ジャンル	参加者数
4/1(土)・4/2(日)	東雲会「さくら茶会」	飲食イベント	176
4/1(土)～4/9(日)	鈴木文隆 水彩画展	展示	439
4/20(木)～3/2(土)	小田原社中ワークショップ(期間中6回)	その他イベント	28
4/23(日)	チャイとお菓子の茶会	飲食イベント	20
4/30(日)～3/24(日)	論語の素読会(期間中11回)	講座・教室	163
5/24(水)～1/31(水)	みんなでYOGA!(期間中13回)	講座・教室	79
6/1(木)・2(金)・6/6(火)・6/10(土)	小田原で愛らしいお香(印香)づくりと西海子さんぽ	施設見学・ガイド	76
6/4(日)	6/4はドーナツの日! まんまる気分でドーナツを!!	マルシェ等販売	75
6/17(土)～6/29(木)	山本春光 天空書展	展示	187
6/18(日)・6/24(土)	茶BAR	飲食イベント	48
7/2(日)	組子細工コースター体験	講座・教室	4
7/8(土)	東京ベンチャー企業 セタ交流会	その他イベント	10
7/15(土)～7/30(日)	愛と光の蓮の花	展示	151
8/18(金)～8/27(日)	小平尚典「空也上人写真展」	展示	32
9/21(木)	着付け教室	講座・教室	5
10/8(日)・10/9(月)	こだわりの意匠満載 旧松本剛吉別邸見学会	施設見学・ガイド	16
10/24(火)～11/3(金)	日本あちこち旅みやげ たなかきよお展	展示	327
11/7(火)～11/19(日)	劇作家・北条秀司と名優・緒方拳	展示	362
11/21(火)	大人の休日倶楽部 趣味の会	施設見学・ガイド	33
11/22(水)～12/1(金)	美の室礼展	展示	140
12/2(土)・12/3(日)	東雲会「もみぢ茶会」	飲食イベント	121
12/2(土)・12/3(日)	文化財建造物秋の観覧会	施設見学・ガイド	311
12/9(月)	「オダワラの」ワークショップ	その他イベント	38
12/13(金)	近畿日本ツーリスト「美食と癒しの旅」	飲食イベント	3
1/20(土)・1/21(日)	WINTER WONDER MARKET	マルシェ等販売	351
1/27(土)	書道と茶道のワークショップ	講座・教室	5
3/2(土)	おだわら雑の道中まち歩き	飲食イベント	15
3/3(日)	お雛まつりに和菓子ときもの	講座・教室	45
3/7(木)～3/10(日)	永井香峰書画展 ～春の陽ざしの中で～	展示	399
3/30(土)	常留めワークショップ	講座・教室	20
3/30(土)・3/31(日)	東雲会「さくら茶会」	飲食イベント	133



○受託者が作成したホームページ  
<https://matsumoto-goukichi.com/>

○イベント参加者のご意見等

- ・玄関の段差が高く、足が不自由なので上り下りしやすいようにしてほしい。
- ・茶室があることを知らなかった。普段からお茶が飲めるようにしてほしい。
- ・来やすい場所で便利、ついでに海や他施設にも行けるのでよい。
- ・周辺情報を施設で知りたい。

評価軸③-4

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和5年度
項目		現在の状況	
小田原文学館(本館・別館)整備活用事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間	令和3年度～令和12年度
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)、神奈川県市町村自治基盤強化総合補助金、市単独事業
計画に記載している内容	小田原文学館に付随する庭園の修景整備等を行うことにより建造物と一体的に歴史的風致形成建造物としての魅力を高める。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

・庭園整備の方向性等については、旧観の復元、建物との調和、美観の向上、管理機能の強化と安全性の確保、バリアフリー化、回遊拠点・休息施設としての利便性の向上の観点から、具体の整備内容について検討を進めており、令和4年度には令和3年度に取りまとめた改修整備の基本方針を踏まえ、詳細調査を行うとともに基本計画を策定した。

・策定した基本計画に基づき、令和5年度から令和6年度にかけて、実施設計業務を進めている。

・活用事業については、常設展示のほか、資料の特別展示、展示資料・建物の解説、テレビドラマ等への撮影の協力などを実施した。

【定量的評価】

入館者数 目標値:10,000人 R3:4,509人 R4:5,312人 R5:5,649人 (達成率56%)

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

○特別展開催時の様子



特別展「劇作家・北條秀司—華やかな交流の軌跡—」  
 (令和5年10月26日～12月10日)  
 入館者数:1,141人

○庭園整備の検討対象箇所(一部)



荒廃した散策路



枯れた状態のままの苑池



建物の展望を阻害する植栽

評価軸③-5

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和5年度
項目	現在の状況	
歴史的風致形成建造物整備活用事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 令和3年度～令和12年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)、市単独事業

計画に記載している内容 歴史的風致形成建造物の指定の方針に基づき、歴史的建造物を歴史的風致形成建造物に指定し、建造物の修理及び復原に対する費用を助成する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

・歴史的風致を形成する活動の拠点となるものや歴史的風致を形成する市街地環境の維持向上に寄与するものなど、歴史的風致形成建造物の指定条件を満たす建造物を、歴史的風致形成建造物として指定しており、また、所有者から要望があった場合、建造物の修理及び復原に対する費用を助成している。  
 ・令和5年度の指定及び指定候補の追加に係る事項については、「二の丸観光案内所」及び「三淵邸・甘柑荘」の2件を指定候補に追加した。  
 ・令和5年度の指定に係る事項については、「旧豊島家住宅」の1件を指定した。  
 ・令和5年度の歴史的風致形成建造物改修整備費補助金については、籠清の店舗(天井・床)の修理等を実施した。  
 ・歴史的風致形成建造物の指定表示板について、歴史的風致の維持向上に資する取組とするため、歴まち計画(第1期)で用いたデザイン(金属製)から、箱根寄木細工等の木工技術を用いた木製に変更した。

【定量的評価】

歴史的風致形成建造物の指定件数(累計)	R3:15件	R4:15件	R5:16件
歴史的風致形成建造物(指定候補)の件数(累計)	R3:12件	R4:14件	R5:15件
歴史的風致形成建造物の助成件数(累計)	R3:0件	R4:1件	R5:2件

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

○歴史的風致形成建造物の指定 1件



旧豊島家住宅

○歴史的風致形成建造物の指定候補 2件



二の丸観光案内所



三淵邸・甘柑荘

○歴史的風致形成建造物改修整備費補助金 1件【対象物件:籠清】



改修前



改修後

○主な工事内容  
 ・店舗(天井・床)の修理等。

○歴史的風致形成建造物の指定表示板



歴まち計画(第1期)のデザイン



歴まち計画(第2期)のデザイン



評価軸③-6

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和5年度
史跡小田原城跡保存活用・整備事業		現在の状況 <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 令和3年度～令和12年度

支援事業名 史跡等購入費補助金、国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金、指定文化財保存修理等補助金、市単独事業

計画に記載している内容 史跡小田原城跡を確実に保存し、未来に伝えるための基本方針として令和3年策定の『史跡小田原城跡保存活用計画』に基づき、小田原城址公園を中心とする本丸・二の丸や八幡山古郭・総構等の保存・活用・整備を図る。御用米曲輪の土塁の復元や蔵跡の平面表示、平場部分への遊歩道設置等の整備が終了した部分から順次一般公開を行う。史跡指定地内の地権者からの申し出の機会を捉え、史跡用地の買い取りを進め、順次活用と整備を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- ・史跡内の樹木を伐採・剪定するなどして、史跡の保護と適正な管理を行っている。
- ・「史跡小田原城跡御用米曲輪戦国期整備検討部会」の協議結果を基に、御用米曲輪の基礎調査・環境調査・埋蔵文化財調査を実施した。
- ・御用米曲輪の現況・調査経過に係る一般公開を11月25日(土)に行い、332人が参加した。
- ・史跡内の民有地を公有化するために必要な算定調査を実施し、予定していた土地を民有化した。

【定量的評価】

公有化済史跡指定地面積(累計) 目標値:68,779㎡ R3:65,455㎡ R4:67,748㎡ R5:68,779㎡(達成率100%)

※公有地には本市所有の土地以外も含む

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
----------------	--------------------------

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

○現地写真



御用米曲輪の埋蔵文化財調査



御用米曲輪の環境調査



御用米曲輪見学会(令和5年11月25日)



公有化された土地(史跡小田原城跡内)

評価軸③-7

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和5年度
指定文化財等建造物保存・公開事業		現在の状況 <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 令和3年度～令和12年度

支援事業名 指定文化財保存修理等補助金、市単独事業

計画に記載している内容 県及び市の指定文化財建造物の所有者に対し管理奨励金を支出するとともに、修繕が必要な場合に補助し、修繕の指導及び助言をすることで、保存と管理の支援を図る。  
県及び市の指定文化財の建造物や国の登録有形文化財、小田原ゆかりの優れた建造物などの見学会や観覧会を NPO 法人等との連携を図りながら実施する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

・指定文化財等の修繕については、船津家の長屋門の保全修理(茅葺屋根の葺き替え)、長興山の枝垂桜と三島神社のケヤキの樹勢回復に対し補助を行った。  
・指定文化財等の公開については、以下のとおり。  
最新出土品展2023(令和5年11月3日～12月24日)  
遺跡調査発表会(令和5年11月25日)  
遺跡講演会(令和5年11月26日)  
文化財建造物の観覧会(令和5年12月2日、3日)  
遺跡見学会(令和6年3月16日)

【定量的評価】

指定文化財等の修繕に係る補助件数(累計) 目標値:40件 R3: 2件 R4: 6件 R5: 10件 (達成率25%)  
文化財建造物等公開事業来場者数 目標値:2,000人 R3:2,203人 R4:2,367人 R5:2,592人(達成率130%)

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

○指定文化財等の修繕  
船津家の長屋門の修復



修繕前



修繕後

○指定文化財等の公開



文化財建造物観覧会(令和5年12月2日、3日)



遺跡見学会(令和6年3月16日)

評価軸③-8

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和5年度
項目	現在の状況	
街かど博物館活用事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 令和3年度～令和12年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容  
 地域に根差した店舗等を街かど博物館として認定して一般公開するとともに、街の歴史や魅力を知ってもらうことを目的とした体験教室やまち歩きツアーなどの事業を実施する街かど博物館館長連絡協議会の活動を支援する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

・街かど博物館体験ツアーについて、令和5年度は5回開催した。(うち2回は中止)  
 ・街かど博物館ファンクラブ会員へツアー開催及びイベント情報を知らせる「まちはく通信」を発行しており、令和5年度は、まちはく体験ツアーの周知のため、2回発行した。  
 ・令和5年12月7日に朝翠(あさみどり)養蜂販売株式会社が18館目の街かど博物館として認定された。博物館名は「ハチミツ養蜂博物館」。

【定量的評価】

街かど博物館認定数(累計)	R3:17館	R4:17館	R5:18館
街かど博物館体験ツアー開催回数	R3:2回	R4:5回	R5:5回(うち2回中止)
街かど博物館体験ツアー延べ参加者数	R3:22人	R4:40人	R5:38人
街かど博物館館長連絡協議会開催回数	R3:3回	R4:3回	R5:2回
街かど博物館ファンクラブ会員数	R3:648人	R4:665人	R5:683人

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)  
計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

○街かど博物館館長連絡協議会  
 第1回(通算第67回)：令和5年8月2日(水) 18:00～19:00  
 ・令和4年度 収支決算、事業報告について  
 ・令和5年度 収支予算、事業計画について  
 ・街かど博物館体験ツアー(秋)について  
 ・街かど博物館認定委員会について  
 第2回(通算第68回)：令和6年1月22日(月) 18:30～19:30  
 ・街かど博物館体験ツアー(秋)の開催結果について  
 ・街かど博物館体験ツアー(春)の開催計画について



ハチミツ養蜂博物館  
(朝翠養蜂販売)

○令和5年度街かど博物館認定委員会(朝翠養蜂販売株式会社)  
 第1回街かど博物館認定委員会： 令和5年8月22日(火) 18:00～19:00  
 街かど博物館認定委員会現地視察：令和5年10月16日(月) 10:00～11:00  
 第2回街かど博物館認定委員会： 令和5年10月26日(木) 18:30～19:30  
 お披露目式： 令和5年12月7日(木) 10:30～11:30



小田原産のハチミツ  
(ハチミツ養蜂博物館)

○街かど博物館体験ツアー  
 秋(10月・11月・12月)、春(2月・3月)にツアー実施  
 ・令和5年10月27日(金) 海の恵みを満喫! まちはくツアー (中止)  
 ・令和5年11月25日(土) 小田原の伝統と今を体験! まちはくツアー (中止)  
 ・令和5年12月9日(土) 紅葉の紅葉さんぽと、海と山のなりわいを知るツアー (参加者:11名)  
 ・令和6年2月24日(土) 「おだわら雑の道中」と華やぐ街博めぐり(参加者:19名)  
 ・令和6年3月23日(土) 春満喫! 桜のお城とお団子の街博ツアー(参加者:8名)



←お雑さ見学



施設見学→  
(陶彩ぎや  
りい)



施設見学→  
(のれんと味の博  
物館)

評価軸③-9

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和5年度
項目	現在の状況	
小田原宿なりわい交流館整備活用事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 令和3年度～令和12年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)、市単独事業

計画に記載している内容 昭和7年(1932)に建設された旧網問屋を、誰でも立ち寄れる休憩所として、また小田原の地場産業に関する情報発信の場として整備し、市民や観光客へ無料で提供している。官民連携により誘客及び回遊拠点としての機能と魅力を高めるため、耐震補強を含めた再整備を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

・管理運営業務については、令和3年度に引き続き合同会社小田原かまぼこ発信隊が受託し、地域と一体となった管理運営を行っている。  
 ・令和4年度は計画どおり、耐震診断業務を執行した。  
 ・令和5年度4月からは、耐震診断に基づき耐震補強等改修実施設計業務を執行した。  
 ・令和6年度は、耐震補強等改修実施設計業務に基づき耐震改修工事を開始する予定。

【定量的評価】

入館者数	R3:38,102人	R4:40,120人	R5:43,321人
自主事業の開催数	R3:4回	R4:8回	R5:9回
イベント会場(2階)の利用回数	R3:30回	R4:62回	R5:83回
開館日数	R3:364日	R4:364日	R5:365日

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

○各種団体との連携事業

(1)地元飲食店事業者との連携事業

- ・「こども食堂(まんまるほっぺ)」を開催する際の開催場所として協力
- ・開催当日は、参加者に活動の場を提供
- ・令和5年度開催日:3/28



こども食堂看板



配布された弁当



2階での活動の様子

(2)障がい者団体との連携事業

- ・なりわい交流館周辺地域の方に新鮮な野菜を提供するため、なりわい野菜市を毎月1回開催
- ・野菜市については、地元の障がい者団体が販売を実施
- ・野菜市 令和5年度開催日:5/20、6/17、7/15、9/16、10/21、11/18、12/16、2/17、3/16

※上記の未開催月については天候不良等によるもの



野菜市当日の様子

(3)観光との連携事業

- ・なりわい交流館にて来訪客に小田原ちようちんの製作体験の実施
- ・ちようちん製作ボランティアの会が製作体験を実施
- ・製作体験 令和5年度 開催回数24回 体験人数:197人

評価軸③-10

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和5年度
景観計画重点区域等における景観形成修景費補助事業		現在の状況 <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 令和3年度～令和12年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金事業(街なみ環境整備事業)、市単独事業

計画に記載している内容 景観計画における3つの拠点型重点区域(小田原城周辺地区、小田原駅周辺地区、国道1号本町・南町地区)又は当該区域への移行に取り組む地域(かまぼこ通り周辺地区)において、景観形成の方針に基づく景観修景に対する助成等を行うことで、潤いとやすらぎのある景観や歴史的資源を活用した落ち着きと風格がある景観の形成を促進させる。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

・拠点型重点区域又は当該区域への移行に取り組む区域の景観形成の方針に基づく良好な景観形成に寄与する事業に対し、「景観形成修景費補助金」により経費の一部を助成することで、景観の形成を図っている。  
 ・令和5年度は、候補者と調整を進めていたが、物価高騰の影響や他の補助金の活用などにより、工事着手や本補助金の活用に至らなかった。令和6年度は現在3件ほど補助活用に向け調整を進めている。

【定量的評価】

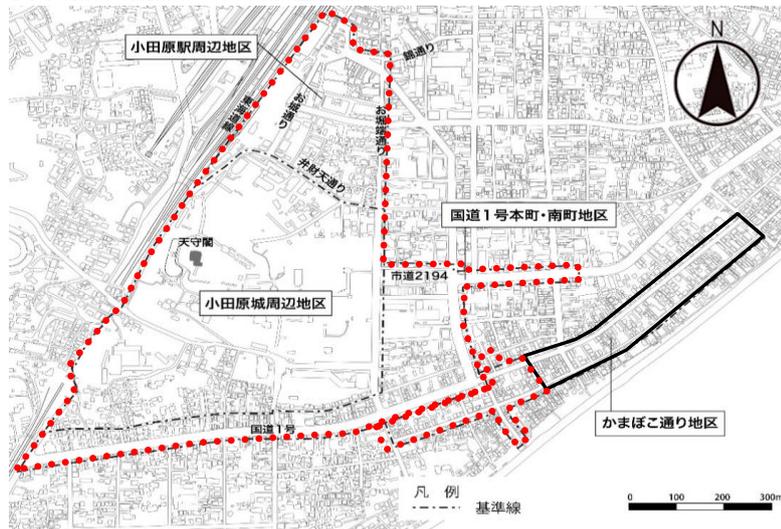
景観形成修景費補助件数(累計) 目標値:20件 R3:1件 R4:3件 R5:3件 (達成率15%)

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

○景観計画重点区域(拠点型重点区域)等



- ⋯ 景観計画重点区域  
(小田原城周辺地区、小田原駅周辺地区、  
国道1号本町・南町地区、かまぼこ通り  
周辺地区(幸地区))
- 景観計画重点区域への  
移行に取り組む区域  
(かまぼこ通り周辺地区(万年地区))

評価軸③-11

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和5年度 現在の状況
重点区域における街なみ環境の向上		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 令和3年度～令和12年度

支援事業名 都市構造再編集集中支援事業、市単独事業

計画に記載している内容 かまぼこ通り周辺地区、銀座・竹の花周辺地区、板橋・南町周辺地区においては、歴史まちづくりの機運が高まってきていることから、地区住民等とともに『小田原市景観計画』や『歴史的建造物活用エリアコーディネートプラン』を踏まえ、ハード及びソフト事業を展開していき、地区の街なみ環境の向上に取り組む。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

○良好な景観形成に向けた取組  
 ・かまぼこ通り周辺地区については、平成30年度から小田原宿やなりわいの文化・風情を受け継ぐ歴史的建造物を生かした街なみ景観の形成を図るため、景観計画重点区域への位置づけに向け取り組んでおり、令和3年度に既存建築物の色彩調査、地域住民への個別説明を実施した上で、令和4年度に景観計画及び景観条例等を改正し、令和5年7月に施行した。  
 ・銀座・竹の花周辺地区については、市条例に基づく街づくり基準に適合しない色彩の店舗が開店したことを契機に、法的拘束力のある景観計画重点区域の指定等への移行を検討している。

○まちなか再生支援事業  
 ・かまぼこ通り周辺地区の地元まちづくり協議会を対象として、持続可能なまちづくりの推進体制構築、空き家・空き店舗の利活用に係る取組を進めている。令和5年度は、個別相談の申し入れがあった2名の空き家所有者に対して、協議会に所属する不動産事業者、工務店と市にて対応した。

○道路事業  
 ・かまぼこ通り及び板橋・南町周辺地区(旧東海道)において、街なみ環境の向上に資する道路改良(景観に配慮した舗装整備等)を進めている。令和5年度は次のとおり。  
 ・市道2033道路改良工事(景観舗装:L=160m) 令和5年11月～令和6年2月  
 ・市道0026道路改良工事(景観舗装:L=140m) 令和5年6月～令和5年11月

【定量的評価】  
 道路改良工事(側溝改修) R3:L=220m R4:L=180m  
 道路改良工事(景観舗装) R3:L=60m R4:L=140m R5:L=300m

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

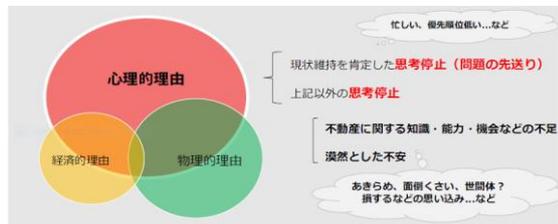
○景観計画重点区域の検討エリア



かまぼこ通り周辺地区

○まちなか再生支援事業  
(空き家・空き店舗の利活用に係る取組)  
なぜ? ? 空き家・空き店舗になってしまう根本原因

- 大きく3つの理由に分類できるが、心理的なものが大きなウェイトを占める



心理的理由: 忙しい、優先順位低い...など  
 現状維持を肯定した思考停止(問題の先送り)  
 上記以外の思考停止

経済的理由: 不動産に関する知識・能力・機会などの不足  
 漠然とした不安

物理的理由: あきらめ、面倒くさい、世間体? 損するなどの思い込み...など

○市道2033,2035道路改良工事(景観舗装:L=160m)



➔



整備前

整備後

評価軸③-12

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和5年度
項目		現在の状況	
文化財の総合的把握・保存活用事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 令和3年度～令和12年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 指定文化財には至らないものの、地域にとって宝ともいえる文化財について、官民で協力しながら総合的に把握する仕組みを構築するとともに、必要な資料調査を実施する。また、これを踏まえつつ、『小田原市文化財保存活用地域計画』の策定に取り組む。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

・平成29年7月に石造物調査会、令和元年6月に古写真整理の会が市民ボランティアにより発足し、文化財に対する理解を深める機会となっている。現在は、石造物調査会14名、古写真整理の会14名がボランティアとして参加している。  
 ・令和5年度の取組として、石造物調査会は市内久野の悉皆調査を行っている。古写真整理の会では郷土文化館が収蔵している昭和期の小田原市街地写真約170点を整理した。  
 ・小田原市文化財保存活用地域計画の策定に向けては、意識調査アンケートを実施(974件回答)したほか、地域等でのワークショップを2回開催、計画づくりのワーキング組織である懇話会を2回開催した。

【定量的評価】

文化財の把握に係る調査件数(累計) 目標値:10回 R3:1回 R4:2回 R5:4回(達成率40%)

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

○小田原市文化財保存地域計画の策定に向けた取組



上府中地区でのワークショップの様子  
(令和6年2月22日)



令和5年度第2回懇話会  
(令和6年3月12日)

○市民ボランティアによる文化財の総合的把握



古写真整理の会による調査の様子  
(撮影場所を特定し、地図に記録する  
令和5年7月11日)



石造物の会による調査の様子  
(市内久野の石造物を悉皆調査の様子  
令和5年6月8日)

評価軸③-13

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和5年度
項目		現在の状況	
伝統行事・民俗芸能等保存継承事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 令和3年度～令和12年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容  
 本市を特徴づける神社の祭礼等伝統的な行事の認知度を高める情報発信に努めるほか、必要に応じて学識経験者等の指導や助言を得ながら、神輿や山車の現況調査を進め、祭礼を支える用具類の維持を支援していく手立てを検討する。市内各地で継承されている小田原囃子の無形の民俗文化財としての価値を明らかにし、市の文化財指定に向けての研究を進める。民俗芸能の保存活動団体に対し、活動の周知や後継者育成のための発表会など普及啓発や保存の取組を支援する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

・小田原民俗芸能保存協会の発足50周年を記念した後継者育成発表会を、令和5年11月12日に三の丸ホール(大ホール)で開催した。  
 ・後継者育成発表会の動画を、小田原デジタルミュージアムで発信できるよう準備を進めている。  
 ・令和5年8月3日、「おだわら市民学校」の専門課程において、学識経験者を講師とする「小田原の民俗芸能を学ぶ」と題した公開講座を開講したほか、「相模人形芝居」を体験するカリキュラムを実施するなど、民俗芸能への理解を深める取組を実施した。

【定量的評価】

後継者育成発表会の参加者数及び観覧者数 目標値:400人 R3:開催なし R4:454人 R5:806人(達成率202%)

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



令和5年度小田原民俗芸能保存協会総会の模様 (令和5年5月19日)

おだわら市民学校(令和5年8月3日)



小田原民俗芸能保存協会 「後継者育成発表会」(令和5年11月12日)



評価軸③-14

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和5年度 現在の状況
観光イベント支援事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 令和3年度～令和12年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 本市最大の観光イベントである小田原北条五代祭りや小田原ちょうちんまつりなどの観光イベントを主催する(一社)小田原市観光協会を支援し、安定したイベント開催の実現を図る。観光イベントでは、コンテンツの一つとして神輿や小田原囃子などの伝統的な活動が披露される。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

・小田原北条五代祭りは、北条五代などに扮した武者隊や鉄砲隊などが市内を勇壮に練り歩く、本市最大の観光イベントである。また、パレードでは神輿や小田原囃子も披露される。令和5年度は、4年ぶりに従来の規模で実施し、3名の城主役ゲストの参加やコロナ禍以前より街角パフォーマンスの演出場所を増やしたほか、北条家が「伊勢」から「北条」に改姓し500年の記念の年となることから、新たな試みとして記念シンポジウムを開催した。この結果、北条五代祭りの来場者数は、過去最多の26万人であった。

・小田原ちょうちんまつりは、歴史に名を残す「小田原ちょうちん」をシンボルとしたイベントであり、小田原城本丸広場では市内の小学生が製作した手作りちょうちん約1,700個を一堂に集め展示発表するほか、小田原囃子競演会や神輿パレードも実施される。台風等による中止やコロナ感染拡大に伴う中止期間を経て、令和5年度は、令和4年度の実施状況に鑑み、開催を7月から10月に、開催日数を2日から1日として実施した。神輿パレードもコロナ禍以前の規模で開催され、地域の賑わいを創出した。

・小田原市観光協会は、観光庁が進める、インバウンドの本格的な回復を図るための特別な体験コンテンツ等の創出等を支援する「観光再始動事業」の採択を受け、1日限定の「小田原城主体験プラン」と、「伝統芸能の鑑賞」や「禅体験のプラン」を催行した。

・また、令和3年度に引き続き、小田原市観光交流センターにおいて「風魔忍者育成及び忍者ショー」を開催するなど、分散型・回遊型にシフトした新たな事業も展開しており、新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行され、観光イベントはコロナ禍以前の規模で開催されるなど、街に賑わいが戻り、観光誘客にもつながった。

【定量的評価】

観光協会が開催したイベント数 R3:16回 R4:15回 R5:18回

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

○第59回小田原北条五代祭り(令和5年5月3日開催)



○小田原ちょうちんまつり(令和5年10月9日開催)



評価軸③-15  
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和5年度
回遊性向上推進事業		現在の状況 <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 令和3年度～令和12年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金事業(街なみ環境整備事業)、市単独事業

計画に記載している内容 歴史的建造物などへの案内板等の整備及び維持管理を行い、市民や来訪者の回遊性を高める。併せて、歴史的建造物等の情報、史実等のストーリーや回遊ルート等を紹介する散策マップを作成する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

・案内板については、踏査により設置状況を把握したうえで整備を実施した。  
・回遊ルートや施設の情報を紹介するウォーキングタウンおだわら散策マップの東部版を25,000部発行した。なお散策マップは東部版、中央版、西部版の3種類となっており、観光案内所や観光施設、郵送などで配布している。

【定量的評価】  
案内板の整備(新設及び修繕)件数(累計) 目標値:10件 R3:1件 R4:2件 R5:5件 (達成率50%)

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

○案内板の整備(令和6年1月整備)

- ①歴史と文化の香るまち  
散策コース案内板
- ②大久保神社説明板
- ③井上康文詩碑説明板



修繕前

修繕後



修繕前



修繕後

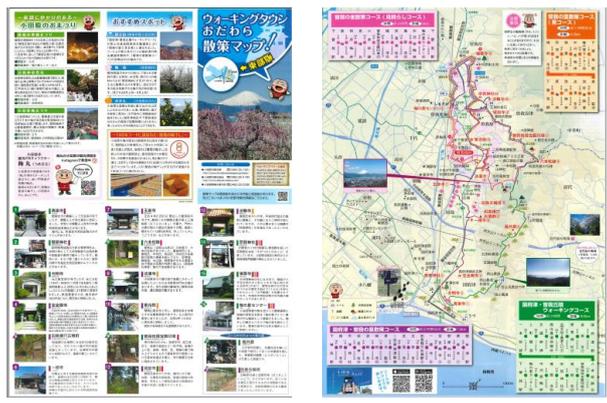


修繕前



修繕後

○小田原散策マップ東部版(令和6年1月発行)



評価軸③-16

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和5年度 現在の状況
伝統的工芸品産業産地組合助成・地場産業PR支援事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 令和3年度～令和12年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容  
 伝統的工芸品産業産地組合助成事業では、小田原箱根伝統寄木協同組合が行う後継者・従事者研修事業及び需要開拓事業に対して助成を行う。  
 また、地場産業PR支援事業では、小田原・箱根地域の木製品産業における技術の向上及び販路開拓、情報発信を目的としたイベント『小田原・箱根「木・技・匠」の祭典』に対し補助しているが、このイベントは隔年開催であるため、令和5年度の実施はなく、令和6年度の事業実施に向けて準備委員会を6回開催した。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

・担い手の育成や伝統技術の継承を目的に、小田原箱根伝統寄木協同組合が行う「伝統的工芸品産業の振興に関する法律」に基づいた振興事業(従事者・後継者育成事業、販路開拓事業)に対し助成した。

・小田原・箱根「木・技・匠」の祭典に関しては、令和6年度の事業実施に向けた準備委員会を令和5年7月20日を皮切りに、令和5年度は全5回の準備委員会を開催した。

【定量的評価】

展示会・見本市への出展者数 目標値:33社 R3:30社 R4:23社 R5:36社 (達成率109%)

小田原・箱根「木・技・匠」の祭典来場者数(隔年開催) 目標値:8,000人 R3:開催なし R4:6,500人 R5:開催なし

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

○組合による従事者・後継者育成事業

①寄木製品の試作研修

【日 程】令和5年10月4日、11日、18日、26日、11月8日 計5日間

【講 師】露木 清勝、石川 一郎

【参加者数】17名(延べ33名)

②手道具類の実技研修

【日 程】令和5年11月15日、22日、29日、12月6日、14日 計5日間

【講 師】露木 清勝、石川 一郎

【参加者数】16名(延べ31名)

○組合による販路開拓事業

①GOOD LIFE フェア

【日 程】令和5年9月1日～3日

【場 所】東京ビッグサイト

【出展者数】3社

②サンフランシスコ ポップアップストア出展

【日 程】令和5年10月28日～29日

【場 所】ジャパンセンター内 ホテルカブキ

【出展社数】9社

③JAPAN TRADITIONAL CRAFTS WEEK 2023

【日 程】令和5年11月10日～23日

【場 所】銀座タニザワ

【出展社数】1社

④関東ブロック伝統的工芸品展

【日 程】令和5年12月26日～31日

【場 所】横浜高島屋

【出展社数】1社

⑤ホテルで楽しむひなまつり(神奈川県内の伝統的工芸品展)

【日 程】令和6年2月1日～3月31日

【場 所】京王プラザホテル

【出展者数】13社

⑥銀座名匠市

【日 程】令和6年2月23日～28日

【場 所】銀座松屋

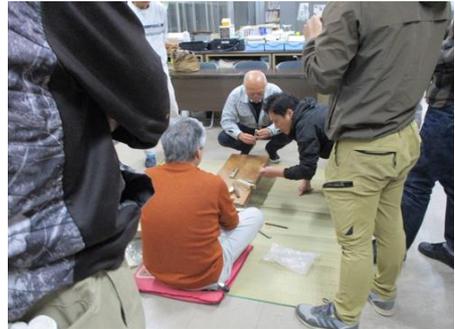
【出展者数】9社

⑦常設展示

伝統工芸青山スクエア、アンテナショップWAZA屋における常設展示販売

○小田原・箱根「木・技・匠」の祭典

令和6年度の事業実施に向けた準備委員会の開催:全5回 ※令和6年度は実行委員会に移行



評価軸③-17

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和5年度
項目		現在の状況
職人育成等推進事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間	令和3年度～令和12年度
支援事業名	都市構造再編集集中支援事業、市単独事業
計画に記載している内容	NPO 団体や歴史的建造物の所有者等と連携し、歴史的建造物の保全やまち並み環境の形成を図るとともに、歴史的建造物の改修等と併せて伝統工法に通じた職人の育成を促進する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で ・歴史的建造物の改修等と併せて伝統工法に通じた職人を育成するため、伝統工法に通じた職人の育成等を目的として設立された「NPO法人おだわら名工舎」への業務委託を行った。令和5年度の業務内容は、次のとおり。 1 旧保健福祉事務所跡地 西海子通り沿い板塀改修等 2 旧保健福祉事務所跡地 出入口簡易門柱設置 3 籠清(民間所有) 障子及び襖張り替え 4 歴史的建造物の価値評価、日常の維持管理、改修修繕等に関する相談に対する助言 ※上記旧保健福祉事務所跡地の板塀改修は令和元年から修景を継続している。なお、令和6年度で完結を予定している。 【定量的評価】 職人育成研修の実施件数(のべ参加者数) R3:3件(48名) R4:4件(81名) R5:3件(46名) 職人育成研修の相談受付件数 R3:30件 R4:44件 R5:45件 研修に参加した高校生の進路状況 R3:9名/13名 R4:6名/13名 R5:3名/6名 (建設業関連への就職割合)	
--	--

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

○旧保健福祉事務所跡地



工事前

➡



工事中(研修中)の様子

➡



工事後(後日塗装済)

○籠清



工事前

➡



工事後

評価軸③-18  
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和5年度
旧保健福祉事務所跡地活用事業		現在の状況 <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 令和3年度～令和12年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 旧保健福祉事務所跡地に多目的広場と駐車場(小田原文学館及び旧松本剛吉別邸)を整備する。将来的に西海子小路周辺の歴史的風致の魅力高める歴史、文化等の情報発信や回遊性の向上に寄与する施設を整備する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

・令和5年度については、施設整備を視野に入れながら用途地域の規制を踏まえ、旧保健福祉事務所跡地の利活用を検討した。

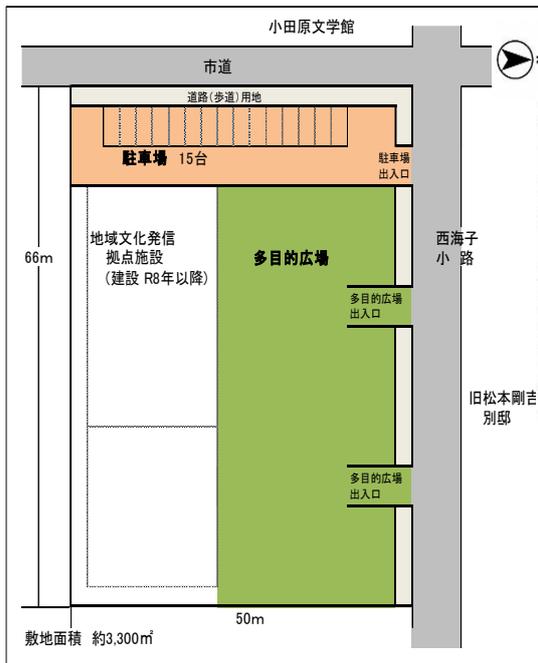
・整備内容については、第6次小田原市総合計画における第2期実行計画期間内(令和7～9年度)での具体化を目指し、検討を進めていく。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している  
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

○整備イメージ



評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	令和5年度
文化財の調査及び指定、防災		現在の状況 <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容  
小田原市文化財保護委員会の指導と助言を踏まえ、必要な文化財調査を進めるほか、学術的な価値が高く、緊急性が高いものから市指定文化財の指定等を行っていく。また、市域全域を網羅できるような地域別の多様な文化財の資料調査に努める。文化財のうち有形文化財等については、火災や自然災害等により毀損、滅失する恐れがあるため、被災リスクの軽減を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- ・令和5年8月9日、同12月27日の文化財保護委員会で、指定文化財の候補案件について協議した。
- ・指定文化財所有者から管理状況の報告を受けた際、防災意識と日常点検の重要性を啓発した。
- ・史跡管理嘱託員が定期的に史跡小田原城跡を見回り、除草・清掃など保存管理業務を実施した。
- ・「小田原古式消防」について文化財の基礎調査を行った。
- ・小田原市文化財保存活用地域計画の策定過程でワークショップを開催するなど未指定文化財の把握に努めている。
- ・文化財防火デーに併せ、令和6年1月24日に二宮尊徳生家(県指定文化財)で消防訓練を行ったほか、24日、25日と各所で防火指導を実施した。

【定量的評価】

市の指定文化財件数(累計) 目標値:116件 R3:115件 R4:116件 R5:116件 ※R5、6の2か年で指定を検討する。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

○文化財の調査



消防出初式における「小田原古式消防」木遣り披露  
(令和6年1月11日)



文化財保存活用地域計画策定に係るワークショップ  
小田原ガイド協会と板橋の街歩き(令和6年2月20日)

○文化財の防災



文化財防火デーに併せた消防訓練の様様  
(令和6年1月24日)



防火指導(消防設備等点検)の様様  
(令和6年1月24日、25日)

評価軸⑤-1  
効果・影響等に関する報道

報道等タイトル	評価対象年度	
	年月日	掲載紙等
皆春荘のお月見の会	令和5年5月21日	神静民報
山県有朋ゆかりの3庭園	令和5年6月28日	神静民報
土用の丑 豊島鰻寮のうな重	令和5年7月8日	タウンニュース
小田原市皆春荘月を描いた日本画展	令和5年7月22日	タウンニュース
小田原で写真家小平さん作品展	令和5年8月23日	神奈川新聞
岩瀬家住宅など8件公開 秋の観覧会12月2・3日	令和5年11月30日	神静民報
明治の元勲 山縣が結ぶ縁 藤田観光と連携協定	令和6年2月4日	神静民報

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

・国指定重要無形民俗文化財「相模人形芝居」の保存団体「下中座」による下中小学校児童への指導、文化財の活用など、本市の歴史的風致等に関するものが多数報道されている。  
 ・上記のとおり、行政や民間からの積極的なプレスリリース等による各種メディアの報道により、本市の歴史的風致に対する市民等の関心が高まり、認知度の向上に寄与している。

【定量的評価】

市が各種メディアに取り上げられた件数 R3:188件 R4:133件 R5:143件

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画の進捗に影響あり
- 計画の進捗に影響なし

状況を示す写真や資料等

皆春荘「お月見の会」盛況  
山縣有朋の愛した風景をテーマにしたお月見の会が、小田原市皆春荘で21日(土)に開催された。山縣有朋ゆかりの3庭園も公開された。

令和5年5月21日付  
神静民報

土用の丑、豊島鰻寮のうな重  
「予約受付中」7月30日(土)お月見の会限定10食  
国指定無形民俗文化財「土用の丑」のうな重を堪能できる。7月30日(土)お月見の会限定10食。予約受付中。

令和5年7月8日付  
タウンニュース

岩瀬家住宅など8件公開  
秋の観覧会 12月2・3日 小田原市  
文化財建造物 秋の観覧会 12.2.3

令和5年11月30日付  
神静民報

明治の元勲 山縣が結ぶ縁  
藤田観光と連携協定 小田原市  
山縣が結ぶ縁の歴史を伝える。藤田観光と連携協定。

令和6年2月4日付  
神静民報

評価軸⑥-1  
その他(効果等)

評価対象年度 令和5年度

項目  
小田原城址公園の魅力向上

計画に記載  
している内容

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

・小田原城や周辺施設を活用した誘客のため、小田原三の丸ホールにて小田原北条五代祭りのオープニングセレモニーとして小田原北条氏誕生五百年記念シンポジウム「家康と小田原北条氏」、及び小田原北条氏誕生五百年記念講演会として「戦国大名 北条氏綱を語る」を開催、また天守閣特別展として「関東の雄 北条氏綱」を開催した。

【定量的評価】

小田原城天守閣入場者数 R3:374,506人 R4:524,201人 R5:589,485人

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

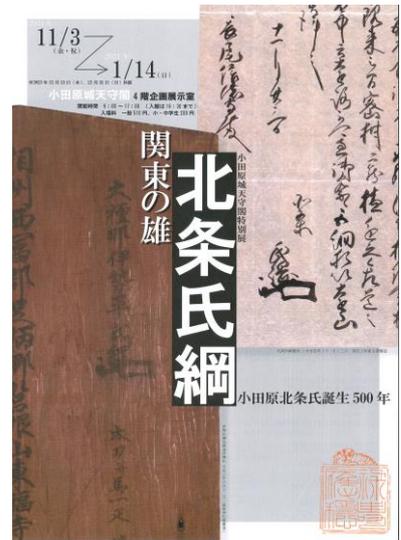
計画の進捗に影響あり  
 計画の進捗に影響なし

状況を示す写真や資料等



小田原北条五代祭り  
オープニングセレモニー  
小田原北条氏誕生五百年記念  
シンポジウム  
「家康と小田原北条氏」  
(令和5年5月3日  
主催:観光協会)

小田原北条氏誕生五百年記念  
講演会  
「戦国大名 北条氏綱を語る」  
(令和5年12月2日)



小田原城天守閣特別展  
「関東の雄 北条氏綱」  
(令和5年11月3日  
～令和6年1月14日)



評価軸⑥-3  
その他(効果等)

評価対象年度 令和5年度

項目

歴史まちづくり出前講座の実施

計画に記載  
している内容

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

・市民等を対象とした出前講座を実施し、本市の歴史まちづくりについて認知度向上を図っている。

【きらめき出前講座】

・小田原水取水口水門周辺の環境整備活動を行っている『小田原早川上水をつなぐ会』から依頼があり、令和5年8月27日に板橋公民館にて、市民11名を対象に小田原市歴史的風致維持向上計画の内容と取り組みの出前講座を行った。  
・板橋地域周辺での、本市の取り組み状況や今後の展望について意見交換も行った。

【本市新採用職員向け出前講座及びまち歩き研修】

・令和5年10月5日に本市新採用職員31名を対象とした歴史まちづくり出前講座及びまち歩き研修を実施。  
・研修の目的としては、市職員として、知っておくべき歴史的資源やその背景等についての理解を深めるとともに、観光資源の利活用について学ぶことにより、基本的な知識の習得と創造的思考力の醸成を図ることとしている。  
・歴史の風致維持向上計画を中心とした本市の歴史的資源等についての講義と、まち歩きでは、板橋・南町周辺を散策し、新採用職員が魅力を感じたスポット等の写真を本市の公式SNSに投稿することなどを行った。

【関東学院大学法学部の学生への地域特性を生かした歴史まちづくり講座】

・関東学院大学法学部から依頼があり、令和6年1月17日に同学科の学生52名を対象とした公民連携による地域特性を生かしたまちづくりの講座(歴史まちづくりの取組内容も含む)を実施した。  
・同学部における建築や都市、まちづくりに係る授業の一コマとして実施したものであり、まちづくり全般を学ぶ学生へ本市の歴史まちづくりを周知することができている。

【定量的評価】

出前講座参加者数 R3:93名 R4:38名 R5:42名

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画の進捗に影響あり

計画の進捗に影響なし

状況を示す写真や資料等



出前講座資料(抜粋)



令和5年10月5日  
本市新採用職員向け出前講座の様子



令和5年8月27日  
市民向け出前講座の様子

評価軸⑥-4  
その他(効果等)

評価対象年度 令和5年度

項目

歴史まちづくりに係る民間の取組

計画に記載している内容

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

【文化芸術振興補助金(地域文化財総合活用推進事業)「地域の伝統行事等のための伝承事業」】

・小田原市第23区自治会では、自治会所有の神輿・山車は経年劣化等による損傷が著しく、安全に渡御等を行える状態ではなく、今後継続して使用することは現状の劣化状態からみて難しい状況にあるため、文化庁による地域文化財総合活用推進事業の支援を受け、修復復元を実施した。

・事業主体は、当該自治会を中心とした小田原第23区自治会山車保存継承実行委員会。

・保存修理にあたっては、文化財的価値の保護のため、基本的に既存の形式・寸法を踏襲し行っており、一般への普及啓発のため修理作業や神輿・山車製作の伝統技術の公開も行い、地域の伝統文化を伝える神輿・山車や祭礼行事の継続・継承が推進されている。令和5年5月3～5日の松原神社例大祭には、修復した神輿・山車の渡御・巡行が行われた。

【地方文化事業支援「小田原囃子山車修復事業」】

・小田原市第30区自治会では、昭和初期の山車焼失とともに途絶えた小田原囃子を復活させるため、公益財団法人東日本鉄道文化財団による地方文化事業支援を受け、箱根町須雲川自治会から譲渡された山車の修復を実施している。

・事業主体は、当該自治会を中心とした小田原囃子山車修復事業実行委員会。

・令和3年度に同支援を受け、山車の車輪及び車軸を修理しており、令和4年度については、山車に係る用具類として締め太鼓を新調した。

・修復された山車を活用し、居神社例大祭等へ参加するため、子どもを含めた地域住民が小田原囃子の練習に尽力するなど、地域が一体となり意欲的に伝統文化の継承が進められている。令和5年5月4、5日の居神社例大祭には、修復した山車の巡行が行われた。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画の進捗に影響あり
- 計画の進捗に影響なし

状況を示す写真や資料等



地域文化財総合活用推進事業  
「地域の伝統行事等のための伝承事業」

地方文化事業支援「小田原囃子山車修復事業」

評価軸⑤-5  
その他(効果等)

評価対象年度 令和5年度

項目

歴史的建造物の入館者数等

重点区域内において、歴史的風致の維持及び向上に寄与する施策を重点的かつ一体的に推進し、歴史的建造物や伝統文化などの保存・活用、歴史的景観等に配慮した市街地の環境整備などを図ることにより、市民や観光客の歴史的風致への認識や愛着を深めるだけでなく、小田原固有の風情が多くの人々に伝播し、歴史的建造物や伝統文化の継承、交流人口の拡大・観光振興などの多方面にわたる効果が期待される。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

○入込観光客数及び施設入館者数 ※詳細は下記を参照。

○県内自治体間、認定都市間との連携

- ・県(邸園文化圏構想、邸園文化祭)による広域連携の実施
- ・歴史的景観都市協議会の加盟、総会等への参加
- ・関東圏歴史的まちなみ等地域資産保存・活用推進会議への参加 など

○歴史的風致形成建造物(指定候補含む)の指定

・歴史的風致形成建造物(指定候補含む)を指定することで、市内に残る歴史的建造物の保存・活用、街なみの保全が推進されている。

【定量的評価】

歴史的風致形成建造物(指定候補含む)の件数 第1期計画:23件 R3:27件 R4:29件 R5:31件

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

□計画の進捗に影響あり

■計画の進捗に影響なし

状況を示す写真や資料等

○入込観光客数及び施設入館者数の推移(単位:人)

○成果指標(第2期計画)

指標	参考		R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
	第1期計画(後期5年)平均値	H30(新型コロナウイルス感染症蔓延前)										
入込観光客数 ※	5,634,012	6,182,240	5,290,670	7,084,037	8,325,948							
小田原城天守閣	582,022	603,318	374,506	524,201	589,485							
松永記念館	16,879	22,342	11,583	14,266	17,326							
清閑亭	24,471	25,712	19,277	休館中	休館中							
小田原文学館(本館・別館)	6,802	8,585	4,509	5,312	5,649							
旧内野醤油店	606	780	418	619	休館中							
旧松本剛吉別邸	7,054	6,070	2,022	7,337	10,321							
小田原宿なりわい交流館	35,689	43,756	38,102	40,120	43,321							
皆春荘	2,156	2,322	1,877	3,308	7,762							

※入込観光客数については、暦年(1月1日~12月31日)の集計値。

○県内自治体間、認定都市間との連携



湘南邸園文化祭パンフレット



第50回歴史的景観都市協議会総会(小田原市)の様子



評価対象年度	令和5年度
・法定協議会等におけるコメント	
コメントが出された会議等の名称： 令和5年度第2回小田原市歴史まちづくり協議会（書面会議）	
会議等の開催日時： 令和5年10月31日から11月10日まで	
<p>(コメントの概要)</p> <p>(1)板橋地区や南町地区では歴史的風致形成建造物が増え、整備も進んでいることから、全体を改めて俯瞰し直し、歴史的風致形成建造物の活用方法や周辺地区との連携を考える必要がある。</p> <p>(2)小田原城址公園の魅力向上について、小田原城での特別展や関連のイベントについて、もう少し広く周知していただきたい。</p> <p>(3)後継者・職人の育成について、今後の労働人口の減少から、育成以前に「若手職人の確保」ができるのか、産業の継続の意味で不安を感じる。</p> <p>(4)市内各所に残る歴史的建造物の資源を活かし、公共施設等の修景事業も進めながら、市民団体等とも連携を図り、まちづくりを推進してきた。これからも着実に歴史まちづくりを進めていただきたい。また、今後とも国土交通省の街なみ環境整備事業等の社会資本整備総合交付金を活用し、歴史まちづくりを進めていただきたい。</p> <p>(5)各施設の整備後の活用事業においては、神奈川県も正会員として参加・運営を行っている湘南邸園文化祭に参加し、同文化祭の活性化の一役を担うよう、指定管理者等に促していただきたい。</p> <p>(6)コロナ禍の中で利活用を断念した諸事業について、収束を見据え、再考していただきたい。</p>	
<p>(今後の対応方針)</p> <p>(1)板橋、南町などの各地区、各施設の現況や特性等を踏まえ、回遊性の向上や効果的な情報発信に取り組み、さらなる事業効果が得られるよう、進めていく。</p> <p>(2)小田原城址公園の魅力向上について、情報発信を検討していく。</p> <p>(3)工業高校の生徒への職人育成事業に伴う授業と実地研修を実施するなど、技術継承を進めるとともに、若手職人を確保するため、研修に参加した高校生の進路状況についても注視している。後継者の発掘と育成は、様々な業界で課題であるが、組合等が取り組む事業に対し、市が連携し側面的支援を実施していく。</p> <p>(4)更なる歴史まちづくりの成果を生みだせるよう、国の支援措置等を活用しながら各事業を推進していく。</p> <p>(5)皆春荘及び旧松本剛吉別邸については、令和5年度より業務委託受託者が湘南邸園文化祭の参加手続きを行った。小田原文学館については検討していく。</p> <p>(6)関係者等と連携、調整し事業について再考していく。</p>	